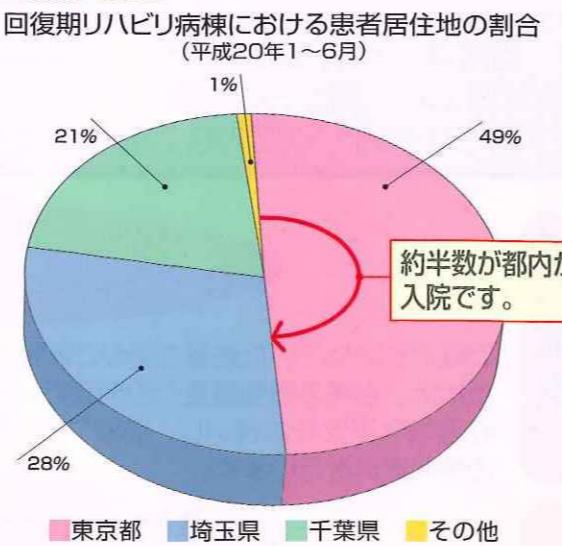
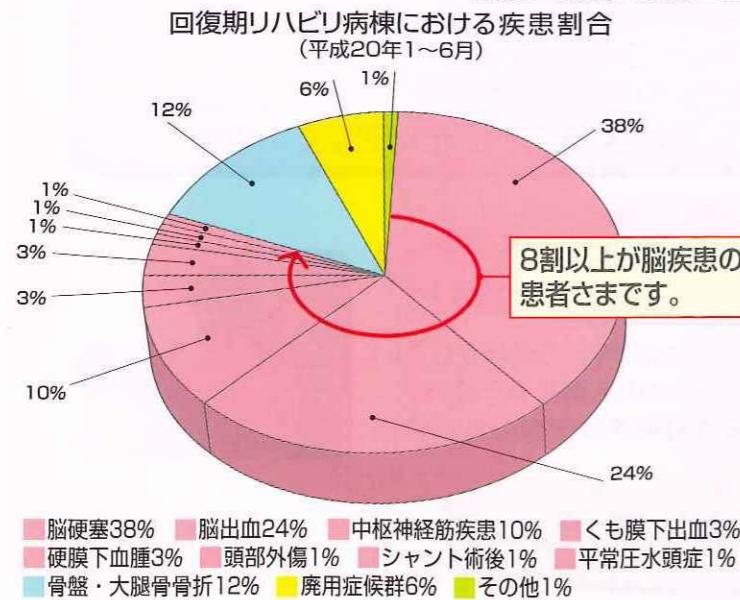


みさと統計書



PLAZAIMS Vol.13

2008年7月

Japan Council for Quality Health Care 日本医療機能評価機構

(財)日本医療機能評価機構認定病院

埼玉みさと総合リハビリテーション病院

- 病院理念 - 幸せ・満足に貢献する病院

- 基本方針 - 高度な医療・看護・リハビリテーションの知識を高め実践します。
チームアプローチに基づいた医療を提供します。
早期の患者様の社会復帰を目指します。

《患者様の権利》

当院では理念と基本方針に基づき、患者様の権利を尊重いたします。

- 患者様は、差別されることなく、良質で最善な医療を公平に受ける権利があります。
- 患者様は、ご自身の病気や治療について十分な説明を受ける権利があります。
- 患者様は、ご自分が治療方針を選択した予想される結果に関する情報を得る権利があります。
- 患者様は、治療方針を決定するために、他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 患者様は、ご自身の医療の内容を知る権利があります。
- 患者様は、個人情報及びプライバシーの保護を求める権利があります。

病院概要

開院／昭和47年 平成15年12月(新設・増床)
開設者／中村哲也
院長／黒木副武
病床数／回復期リハビリテーション病棟：120床(2F・4F)
障害者病棟：55床(3F) 計：175床

診療科目／リハビリテーション科、内科、神経内科
主要設備／マルチスライスCT・X線テレビ診断(VF)
装置／特殊浴室、リハビリ浴室
附属施設／総合介護センター(通所リハビリテーション・居宅介護支援事業所)

発行／埼玉みさと総合リハビリテーション病院 医療連携室 発行日／2008年7月 TEL.048-953-1211 (代表) FAX.048-952-0127
医療法人三愛会 埼玉みさと総合リハビリテーション病院 http://www.ims.gr.jp/saitama_misato/

病院長だより



2008年4月1日より診療報酬改定が行われました。今年は、大きな改定年で、リハビリテーション部門でも大きな改定がありました。まず、リハビリ自体の値段を下げ、ADL加算もすべてなくなりました。同じ作業を同じ人が行っても値段が下がります。リハビリは、人が行うものです。値段が簡単に変わっては、病院経営は不可能です。薬の値段の変更とは訳が違います。全国のリハビリ専門病院は、大きな減収となりました。

次いで大きな改定は、リハビリの値段を2段階にしたことです。重度な患者さまを受け入れれば入れるほど、病院負担は大きいのですが、なぜか逆に診療報酬は下がるという矛盾した改定となっています。重症の人を受け入れれば報酬は、上がるというのが、医療の常識です。国際的にもしてはならない評価を取りいれたことが大きな問題です。

弱者切捨ての医療を進めている厚生労働省ですが、当院はリハビリ専門病院として、広範囲から患者さまを受け入れてまいります。

* ADL加算＝病棟など訓練室以外の場における訓練を評価したもの。

病院長 黒木 副武



医師のご紹介

当院では8名の常勤医が治療にあたっています。患者さまが安心して医療を受けられるために、診療体制を一層手厚くしました。

脳疾患を中心として回復期リハビリテーションの専門病院です。在宅帰宅を考えた、個人個人にあったメニューを考えて実践しています。

医師名 院長 黒木 副武(くろきそえむ)

専門 神経内科

略歴 1981年 日本医科大学 卒業

資格 元日本医科大学客員講師
日本神経学会専門医
日本老年医学会専門医
日本糖尿病学会認定医
指導医
日本内科学会認定医
日本医師会認定産業医



老人福祉施設の勤務が長かったので、この経験を生かていきたいと思います。

医師名 内科部長 津島 隆也(つしまとかや)

専門 内科

略歴 1972年 日本医科大学 卒業

資格 日本内科学会
日本老年医学会



大学病院や一般病院でのこれまでの経験を活かして、患者様がリハビリに専念できるように内科医として支援したいと思います。

医師名 飯田 恵(いいだ さとし)

専門 内科

略歴 1982年 日本医科大学 卒業

資格 日本内科学会認定医
日本医師会認定産業医
日本神経学会専門医
日本医科大学医学会



神経内科は脳や脊髄、神経、筋肉の病気を見る内科です。

お気軽にご相談ください。

医師名 大西 由紀(おおにしうき)

専門 神経内科

資格 日本神経学会専門医
日本リハビリテーション
医学会認定医
日本内科学会認定医



大学病院を経て一般病院・救急病院で臨床一筋です。当院では、リハビリを行っている利用者への日常医療の提供を中心におこなっています。

医師名 都丸 雄一郎(ともる ゆういちろう)

専門 内科

略歴 1999年 群馬大学医学部 卒業

資格 日本医師会認定産業医
日本内科学会
東京内科学会
日本ドック学会



長く神経内科医として、脳卒中の患者様を診察してきました。その経験を生かていきたいと思います。

医師名 島村 秀樹(しまむらひでき)

専門 神経内科

略歴 1990年 国立弘前大学医学部 卒業

資格 日本医師会認定産業医
神経内科専門医
認定内科専門医



脳外科疾患や脳卒中の診療経験を生かていきたいと思います。

医師名 大供 孝(おおとも たかし)

専門 脳神経外科

略歴 1993年 宮崎医科大学
(現 宮崎大学医学部) 卒業

資格 日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医



物理療法を中心に、骨・関節疾患を治すお手伝いをしたいと思います。

医師名 保科 孝好(ほしなかよし)

専門 整形外科

略歴 1992年 東京医科歯科大学 卒業

資格 日本整形外科学会専門医



社会福祉相談室

当院は、社会福祉の専門家である医療ソーシャルワーカーが6名在籍しています。ご入院からご退院まで担当医療ソーシャルワーカーが、病気に伴う経済的・社会的・心理的なご相談について、問題解決のお手伝いをしています。

入院前

入院相談

ご紹介をいただいた患者さまのご家族さまに、病院内をご見学をしていただき、当院の機能概要の説明を行います。今後の入院に伴う経済的・心理的な不安をお伺いし、必要に応じ、高額療養費制度等の社会資源の情報提供を行います。



入院中

入院・入院日カンファレンス

ご本人さま・ご家族さまと面接し、現在のお気持ち・今後のご希望等についてお伺いします。各担当者が集まり、入院時のご本人さまの医療・身体状況について把握します。ご本人さま・ご家族さまのご希望をお伝えしています。

初回カンファレンス

カンファレンスに参加し、ご本人さまの状況を把握します。チーム内で今後の目標や課題について共有します。

病状説明

医師からの病状説明後、ご本人さま・ご家族さまと面接を行います。在宅復帰に向け、介護保険・身体障害者手帳の取得等、必要な社会資源の情報提供を行います。



退院後

継続カンファレンス

自宅退院への準備

●退院調整ミーティング 地域サービス担当者にご来院していただき、リハビリスタッフ・看護師より、医療・身体状況をお伝えする機会を設け、在宅サービス利用の相談を行っています。ご本人さま・ご家族さまが安心して生活できるよう、地域への橋渡しをしています。

●家屋評価 リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカーがご自宅を訪問し、手すりやスロープなどの必要性を検討します。

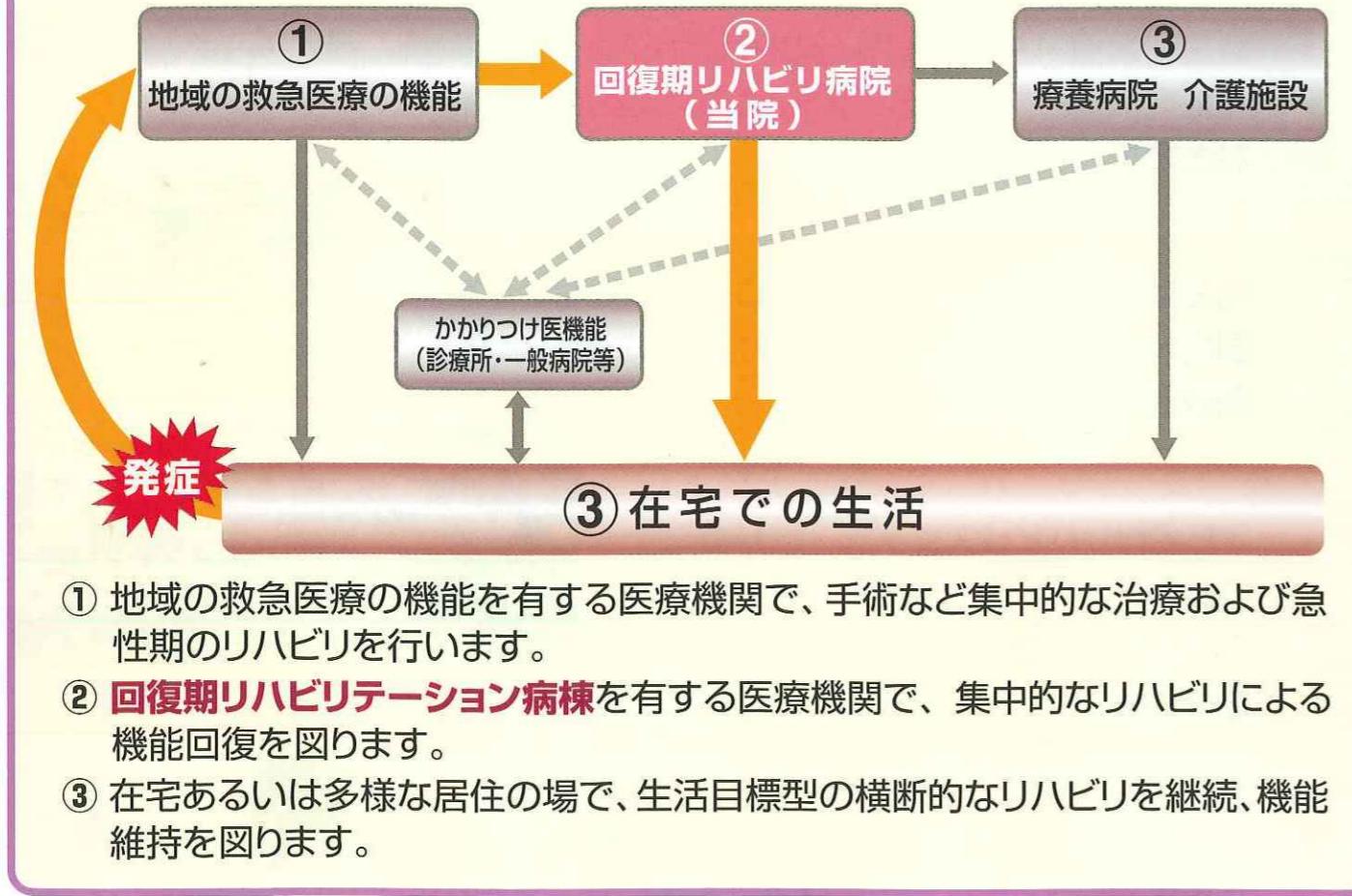
退院

在宅・施設等へ

当院の役割と機能

当院は、**脳血管障害**を中心に、**神経疾患・整形外科疾患等**を対象とした**回復期リハビリテーション**を行う病院です。

例えば脳卒中の場合、病状に応じ、次の流れで医療を受けることが必要です。



回復期リハビリテーション病棟とは？

- 脳血管障害や大腿骨頸部骨折などの**発症または手術後2ヶ月以内**の患者様を特定して受け入れます。
- **チームアプローチ**を実践します。医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカーなどが共同してリハビリテーションプログラムを作成、これに基づくリハビリテーションを集中的に行います。
- 日常生活動作(ADL)能力の向上による**寝たきりの防止と社会復帰**を目指します。

埼玉みさと 総合リハビリテーション病院の 8つの強み

1. 回復期リハビリテーション病棟を**175床**有することで、急性期病院からの早い受け入れができます。

2. 脳血管疾患・頭部外傷などのリハビリテーション、特に**高次脳機能・嚥下(えんげ)障害訓練**に力をおきます。



3. 約**900m²**のリハビリテーションセンターは、国内トップクラスの広さ。約**500m²**の屋外訓練広場もあり、開放的です。



4. 75名のリハビリスタッフ（理学療法士36名・作業療法士26名・言語聴覚士10名・認定心理士1名・助手2名）が密度の濃いリハビリテーションを提供します。



5. 6名の医療ソーシャルワーカーが、入院相談から退院支援まで完全担当で対応します。



6. チームアプローチに基づいた医療を提供します。職種横断型のチームで、患者様の社会復帰を目指します。

7. 看護師による**病棟内リハビリ**で、日常生活に近い訓練ができます。

8. 約**8割**の方が在宅に戻られています。

